横 浜 市 記 者 発 表 資 料

令 和 元 年 ９ 月 ２ ７ 日
文化観光局創造都市推進課

横浜の夜に光がシンクロする
「ＮＩＧＨＴ ＳＹＮＣ ＹＯＫＯＨＡＭＡ」を開催します！

横浜市では、世界から注目が集まるラグビーワールドカップ2019™開催の機会をとらえ、国内外の多くの方に横浜の夜を楽しんでいただくため、美しいイルミネーションと先端技術を活用した都市的スケールの光をシンクロさせる「ＮＩＧＨＴ ＳＹＮＣ ＹＯＫＯＨＡＭＡ」を開催します。

このイベントでは、新港中央広場でメディアアートやイルミネーションを常時展開するほか、特別プログラムとして、広場とその周辺で10分間のダイナミックな光と音楽の演出を行い、横浜の街を光で包みます。

この取組を通じ、街の回遊性を高め、横浜のナイトタイムエコノミーの活性化を図ります。

a 10 分間の特別プログラム(イメージ)

１　開催概要

【開催期間】令和元年10月23日(水)～12月27日(金) 18時～21時10分
【開催場所】主 会 場:新港中央広場を中心とした新港地区
関連会場:神奈川県庁、山下公園、横浜美術館、大岡川(旭橋から黄金橋周辺)
【実施体制】主催：クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会　共催：横浜市
連携：クリエイティブ・ライト・ヨコハマ推進協議会

２　実施内容

（１）常時楽しめるプログラム（新港中央広場、18時～21時10分）

プロジェクションとセンシング技術を使った映像装置を使い、映像コンテンツを双方向で体験できます（図b)。

また、広場の植栽部分では、フラワーイルミネーションやフルカラー投光器による樹木のカラーライトアップを実施します(図c)。

【裏面あり】

b デジタルコンテンツイメージ

c イルミネーションイメージ

（２）10分間の特別プログラム(新港地区及び周辺、18時、19時、20時、21時から各約10分)

新港中央広場のイルミネーションや映像とシンクロし、新港地区及び周辺の８施設にご協力いただき、毎日18時から21時の各約10分間、建物壁面のカラーライトアップやサーチライトによるダイナミックな光と音楽の特別演出を行います(図a)。

複数の建物に設置したライトを一括でコントロールし、都市的なスケールで演出するのはこれまでにない試みです。

【特別演出参加予定施設(８施設)】 ※令和元年９月 27 日現在
①ナビオス横浜 ②横浜ワールドポーターズ ③MARINE&WALK YOKOHAMA
④横浜地方合同庁舎（仮称）建設予定地 ⑤よこはまコスモワールド・大観覧車コスモクロック 21
⑥横浜ハンマーヘッド(新港ふ頭客船ターミナル) ⑦ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル
⑧神奈川県警察本部庁舎

（３）Ｗｅｂ ＡＲの活用

10分間の特別演出では、スマートフォンのカメラに映る実際の風景に、デジタル画像を付加して表示する「Web AR」技術を活用します。

これにより、来場者が演出を選んだり、現実と非現実が一つになった幻想的な写真を撮影するなど、参加型で楽しめるプログラムとします(図d)。

d Web AR イメージ

３　街中で光がシンクロ！（関連会場の取組）

開催期間中、神奈川県庁本庁舎、山下公園、横浜美術館、大岡川の旭橋から黄金橋周辺の４つの関連会場でも光の特別演出が行われ、主会場である新港地区とシンクロしながら横浜の夜を盛り上げます。

４　クリエイティブ・ディレクターについて

クリエイティブ・ディレクター：齋藤 精一氏(株式会社ライゾマティクス代表取締役)

ライゾマティクスは、アート、エンターテイメント、広告、街づくりなど幅広い分野で活躍する、気鋭のクリエイター集団。
代表である齋藤氏は「ミラノ国際博覧会 日本館(2015 年)」など、世界レベルの大型イベントの企画・演出を数多く手掛ける。また、参加者が自分のスマートフォンを使い、増上寺や東京タワーとシンクロする参加型イベント「FULL CONTROL TOKYO(2013 年)」や、夜の新宿御苑を光と音のインスタレーションで彩り、一夜限りのウォーキングスポットに変える「GYOEN NIGHT ART WALK 新宿御苑 夜歩(2018 年)」等、様々な技術を組み合わせた演出が国内外で高く評価されている。

令和元年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業

お問合せ先
文化観光局創造都市推進課創造まちづくり担当課長　河本一満　Tel 045-671-4241

ニュースリリース

令和元年 9 月 27 日
クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会

＜報道関係者各位＞

横浜の街を、風景を、人を光で SYNC（同調）させるナイトアートプログラム

「NIGHT SYNC YOKOHAMA（ナイト シンク ヨコハマ）」開催

～スマートフォンで特別演出に参加して WebAR のミラーワールドを体験しよう～

開催期間：令和元年 10 月 23 日（水）～12 月 27 日（金）／新港中央広場を中心とした新港地区

※共にイメージ画像

クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会は、世界から注目が集まるラグビーワールドカップ2019™開催の機会をとらえ、国内外の観光客を増やし、横浜のナイトタイムエコノミー*1活性化の契機とすることと同時に、さまざまな人が参画し横浜ならではの新たな魅力をつくるプラットフォームとなることを目的として、美しいイルミネーションと先端技術を活用した都市的スケールの光をシンクロさせる「NIGHT SYNC YOKOHAMA（読み：ナイト シンク ヨコハマ）」を実施します【共催：横浜市、クリエイティブ・ディレクター：齋藤精一（ライゾマティクス・アーキテクチャー）】。

「NIGHT SYNC YOKOHAMA」のメインエリアとなる新港中央広場では、メディアアートやイルミネーションを常時展開するほか、新港地区の8施設も参画し、毎日4回、18 時から 21 時の各約 10 分間、特別演出を行います。この特別演出では、カラーキネティクス・ジャパン株式会社による日本初の試みで、多数の LED ライトをインターネットを介して管理・制御するコントロールシステムを活用し、広場と周辺の施設を一体的に、街全体を光と音で演出、また、神奈川県内のクリエイティブチームとして、面白法人カヤックと株式会社ソリッドレイ研究所の企画制作により、センシング技術*2 を用いた WebAR の活用で、来場者がスマートフォンを使って参加することのできるプログラムを実施します。プロジェクションマッピングと WebAR を組み合わせた演出もこれまでにない事例となります。

「NIGHT SYNC YOKOHAMA」は、みなとみらい周辺施設や地域の様々なイルミネーション等とも連携し、今後演出エリアを広げていくことで、回遊性を高め、横浜の夜の観光を促進していく予定です。

*1:ナイトタイムエコノミーの定義：18 時から翌日朝6時までの間に、地域の状況に応じた夜間の楽しみ方を拡充し、夜ならではの消費活動や魅力創出をすることで、経済効果を高めること
*2：センシング技術：人やモノの状態を感知して、インターネットを通じて情報交換することにより相互に制御する技術

==========

【実施概要】

開催期間：　令和元年 10 月 23 日（水）～12 月 27 日（金）　18 時～21 時 10 分
開催場所：　主会場：新港中央広場を中心とした新港地区
　　関連会場：神奈川県庁、山下公園、横浜美術館、大岡川(旭橋から黄金橋周辺)
実施体制：　主催：クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会
　　クリエイティブ・ディレクター：齋藤精一　（ライゾマティクス・アーキテクチャー）
　　共催：横浜市
　　連携：クリエイティブ・ライト・ヨコハマ推進協議会
　　助成：令和元年度日本博を契機とする文化資源コンテンツ創成事業
　　認証：beyond2020 プログラム
ＵＲＬ：　https://night-sync.yokohama/

【クリエイティブ・ディレクター】
齋藤精一　（ライゾマティクス・アーキテクチャー）

Rhizomatiks Architecture 主宰。1975 年神奈川県生。建築デザインをコロンビア大学建築学科(MSAAD)で学び、2000 年から NY で活動。その後 ArnellGroup にてクリエイティブ職に携わり、2003 年の越後妻有アートトリエンナーレではアーティストとして出品。2006 年に株式会社ライゾマティクスを設立。建築で培ったロジカルな思考を基に、アート・コマーシャルの領域で立体・インタラクティブの作品を多数作り続けている。2013 年 D&ADDigital Design 部門審査員、カンヌ国際広告賞 Branded Content andEntertainment 部門審査員(2014)。ミラノ国際博覧会日本館シアタークリエイティブディレクション(2015)、六本木アートナイト 2015 にてメディアアートディレクター。グッドデザイン賞審査員及び審査委員副委員長。ドバイ万博日本館クリエイティブアドバイザー(2020)。

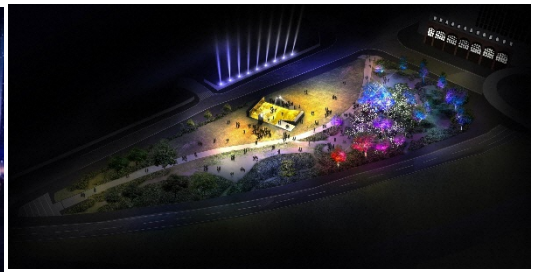
●「NIGHT SYNC YOKOHAMA」実施にかける想い
本年度の施策は、先ずは大きなプラットフォームの第一歩としてはじめました。多くの場所は各々で演出をし、コンテンツを作り集客をしています。ナイトタイムエコノミーという言葉が一般化した今、街全体で同じ方向を向いて、街のブランドを更に強くしていくことが大事だと気付かされました。その試みの一年目として先ずは、イルミネーションを連動する“プラットフォーム”を創ります。このプラットフォームの中に様々な企業やコンテンツホルダー、イベントや施設などが SYNC＝同調し、参画してもらうためにも、初開催の本年は新港中央広場をメイン会場として広場周辺の予想を上回る施設様に参加いただきました。次年度以降も更に大きなスケールになることを期待しつつ、本年の実施を体験していただければと思います。

【実施内容】

(1)常設演出（新港中央広場、18時～21時10分）
プロジェクションとセンシング技術を使った映像装置を使い、双方向で体験できるデジタルコンテンツを投影します。 また、広場の植栽部分では、フラワーイルミネーションや 50 台超のフルカラー投光器による樹木のカラーライトアップを実施します。

デジタルコンテンツイメージ

イルミネーションイメージ


新港中央広場俯瞰イメージ

(2)約10分間の特別演出(新港地区及び周辺、18時、19時、20時、21時から各約10分)
新港中央広場のイルミネーションや映像とシンクロし、新港地区及び周辺の8施設にご協力いただき、毎日18時から21時の各約10分間、建物壁面のカラーライトアップやサーチライトによるダイナミックな光と音楽の特別演出を行います。複数の建物に設置したライトを一括でコントロールし、都市的なスケールで演出するのはこれまでにない試みです。

【特別演出参加予定施設(8施設)】　※令和元年 9 月 27 日現在
①ナビオス横浜
②横浜ワールドポーターズ
③MARINE&WALK YOKOHAMA
④横浜地方合同庁舎（仮称）建設予定地
⑤よこはまコスモワールド・大観覧車コスモクロック 21
⑥横浜ハンマーヘッド（新港ふ頭客船ターミナル）
⑦ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル
⑧神奈川県警察本部庁舎

※イメージ画像

・カラーキネティクス・ジャパン株式会社（フルカラーLED 照明、照明制御システム）
街の個性を「光」で発信したい。そう願う各地の皆様とともに 2001 年の設立以来、多様な光を具現化してきました。照明制御に IoT 技術を取り込んで街に実装するのは、今回が日本初の試み。どうぞご期待ください。

・株式会社ソリッドレイ研究所（マルチ画面連動インタラクティブ映像システム設計・センシング技術開発及びコンテンツ制作）
ソリッドレイ研究所は横浜で生まれてから、33 年間インタラクティブ映像・産業用 VR システムを中心に携わってきました。この度、地元横浜で行われる大規模な都市型プロジェクトに、一企業として参加させていただけることを、とても光栄に感じております。これからの横浜が明るい未来に向かって、先端技術のリーダーとして邁進されることに、弊社が少しでもお役に立てましたら幸いです。

(3)WebARを活用した特別演出

約10分間の特別演出では、現実のイルミネーション風景に、スマートフォンのスクリーン越しに現実を拡張したデジタル演出を付加できる「WebAR」技術を活用します。
これにより、来場者は拡張世界の入り口にスマートフォンで簡単にアクセスでき、今までになかったもう一つの世界“ミラーワールド”を堪能することができます。参加者の方々が、性別年齢国籍問わず、この現実世界と拡張世界が一つになったパラレルワールドを体験でき、またインタラクティブに楽しんでいただけるプログラムとなっています。

※イメージ画像

・面白法人カヤック（特別演出全体企画／WebAR 実装）
WebAR の技術を使い、現実世界と拡張世界が同時に存在する″ミラーワールド″という新しい体験を通じて、「NIGHT SYNC YOKOHAMA」の描く未来を作り上げたいと思い、本演出を企画・制作しました。横浜の美しい夜景と、イルミネーション、プロジェクションマッピング、拡張世界がシンクロした、幻想的な特別演出をぜひお楽しみください。

【ロゴマーク】

●コンセプト
東海道の宿場町として栄え、海外から多くのヒト、モノ、コトが流入して来た横浜には、150 余年に渡り脈々と積み上げられて来た独特の文化と世界観があります。
多くの都市では近年様々な大規模開発が進み、その都市が持つ文化や歴史が姿を消しつつある中で、横浜は新旧の文化が共存する国内でも稀有な場所です。

この横浜の魅力を更に多くの方々に知り、感じ、体感してもらうきっかけを作りたいと思いました。横浜の魅力を国内外に向けて改めて発信する事で、横浜のナイトタイムエコノミー活性化の契機と捉え、今後も海の玄関口として更に発展が期待される横浜みなとみらいエリアを中心に、街全体を使ったマクロスケールと、人・施設に参画してもらう事でのミクロスケールがシンクロする事で生まれる新しい横浜の夜の魅力を、新たな街のブランドとして創っていきます。

また、この取り組みは決して単年で終わるものではなく、この取り組みに賛同して頂ける人や企業に積極的に参画して貰いながら、中長期に渡って拡張を続けていくプラットフォームとしていきたいと考えています。
SYNC に込めた思いは、光や音の連動だけではなく、食や観光、コンテンツやおもてなしも、ぜひこの施策をきっかけに SYNC＝同調することです。大いに期待したいと思います。

新たな夜の YOKOHAMA の魅力創造にご期待下さい。

【制作・協賛/協力】
●NIGHT SYNC YOKOHAMA　制作関連企業

・クリエイティブ・ディレクター	：	齋藤精一　（ライゾマティクス　・アーキテクチャー）
・照明技術設計	：	カラーキネティクス・ジャパン株式会社
・設計施工	：	株式会社乃村工藝社
・ステージ意匠設計	：	株式会社プロペラ・アンド・カンパニー
・特別演出全体企画／WebAR 実装	：	面白法人カヤック
・センシング技術設計	：	株式会社ソリッドレイ研究所
・映像制作	：	株式会社ティー・ワイ・オー

●NIGHT SYNC YOKOHAMA　協賛・協力企業

【協賛】

【特別協力】(50 音順)

神奈川県警察

【協力】(50 音順)

新港ふ頭客船ターミナル株式会社
東急株式会社
一般財団法人　日本船員厚生協会　ナビオス横浜
MARINE & WALK YOKOHAMA
よこはまコスモワールド／泉陽興業株式会社
ヨコハマしんこうパートナーズ株式会社
横浜美術館／公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
横浜ワールドポーターズ

【報道関係者様からのお問合せ先】
クリエイティブ・ライト・ヨコハマＰＲ事務局（株式会社サ ニーサ イドアップ内）担当 :小 山／石黒 ／松瀬
TEL:03-6894-3211　ＦＡＸ:03-5413-3050　E-mail:NSY@ssu.co.jp

【一般の方からのお問合せ先】クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会事務局（株式会社ゼ オ内）
電話:045-227-6062（平日 10:00-18:00）　E-mail:info@creativelight-yokohama.jp

参考：NIGHT SYNC YOKOHAMA 周辺情報

街中で光がシンクロする！関連会場の取り組み

開催期間中、神奈川県庁本庁舎(図①)、山下公園(図②)、横浜美術館(図③)、大岡川の旭橋から黄金橋周辺(図④)の4つの関連会場でも光の特別演出が行われ、主会場である新港地区とシンクロしながら横浜の夜を盛り上げます

●神奈川県庁本庁舎(図①)　[10/23(水)～12/27(金) 18 時から 21 時の各約 10 分間]
・10 分間の特別演出ライトアップを実施。また、日本大通りでは、浮世絵アートウイーク 2019 を開催(10/26(土)～11/3(日祝))
●山下公園(図②)　[11/21(木)～12/27(金)予定]
・「未来のバラ園」をテーマにしたイルミネーションによるロマンチックな光の演出を実施。10 分間の特別演出に参加。
※横浜マリンタワー(図⑤)でも、光の演出を実施 [10/23(水)～11月上旬　予定]
●横浜美術館(図③) [10/23(水)～12/27(金)]
・美術館の夜間開館にあわせて、ライトアップのための照明設備を新設し、10 分間の特別演出に参加
●大岡川(図④) [10/29(火)～11/3(日祝)]
・旭橋から黄金橋周辺で、河川のライトアップと食をからめたイベントを開催。ライトアップは 10 分間の特別演出と連動

図①神奈川県庁本庁舎ライトアップ（イメージ）

図②山下公園イルミネーション(イメージ)

図③横浜美術館ライトアップ(イメージ)

図④大岡川ひかりの川辺 2019(イメージ)

「NIGHT SYNC YOKOHAMA」パートナーシップ連携について

「NIGHT SYNC YOKOHAMA の開催期間中に、市内の 21 施設・団体(9 月 19 日現在)が実施するイルミネーションイベント等と広報連携することにより、街の回遊性を高め、横浜のナイトタイムエコノミー活性化の契機とします。市内のイルミネーション等の情報は、今後、NIGHT SYNC YOKOHAMA の公式 Web に掲載するとともに、開催期間にイベント会場で配布するマップにも掲載します。

<連携イベント>　※( )内は主催者　※9/19 現在、五十音順
アイキャナルストリート イルミネーション2019(石川商店街協同組合)、イセザキ☆ライト(イセザキ・モール1・2St.)、クイーンズスクエア横浜クリスマス2019(クイーンズスクエア横浜2019年度イベント実行委員会)、Christmas Market in 横浜赤レンガ倉庫(横浜赤レンガ倉庫)、The LANDMARK Christmas(ランドマークプラザ)、36thYOKOHAMA イルミネーション2019(一般社団法人横浜西口エリアマネジメント)、春節燈花(横浜中華街発展会協同組合)、SWEET MEMORY in アメリカ山公園(Sweet Memory in アメリカ山公園実行委員会)、スマートイルミネーション横浜2019(スマートイルミネーション横浜実行委員会)、 ドッグランキャラバン ナイトドッグラン(株式会社ドッグラン・ラボ)、パシフィコ横浜 ウィンターイルミネーション2019(パシフィコ横浜)、馬車道プロジェクション2019(東京藝術大学大学院映像研究科・横浜市文化観光局)、Briliant Garden Illumination(仮称)(MARK IS みなとみらい)、星降るテラス(株式会社横浜スカイビル、横浜新都市センター株式会社)、ホテルニューグランド 光の庭園・クリスマスツリー点灯式(ホテルニューグランド)、横浜ガスライトフェスティバル2019(ガス灯の魅力PRイベント実行委員会)、横浜公園彼我庭園ライトアップ(横浜市環境創造局南部公園緑地事務所都心部公園担当)、横浜港フォトジェニックイルミネーション(一般社団法人横浜港振興協会)、ヨコハマミライト～みらいを照らす、光のまち～(ヨコハマミライト実行委員会)、横浜元町イルミネーション2019(協同組合 元町SS会)、横浜ワールドポーターズ ファンタスティック クリスマス 2019(横浜ワールドポーターズ)

ナイトタイムエコノミーについて

（国土交通省「ナイトタイムエコノミー推進に向けたナレッジ集」より）

政府では現在、観光を成長戦略の柱、地方創生の切り札と位置づけ、国内外の旅行者の地域への誘客、交流人口の拡大に向けた取組を進めています。「ナイトタイムエコノミー」は、文化・経済の両面でまちを活性化させ、今後の経済を支える重要なテーマです。ナイトタイムに行われる様々な活動から、未来の文化が生まれてゆき、そのまちの顔となる文化へと発展することにより、国内外の人々を魅了し、引きつける大きな可能性があります。夜間を含めて文化の幅が広がれば、訪日外国人を含めた訪問客の滞在時間も増え、消費拡大が実現します。夜間に営業する事業者にとっては、既存の資産を活用し、「夜間」という新たな時間市場を開拓することで事業を拡大する機会であるといえます。 コンテンツの拡充、交通アクセスの整備、安心安全な環境づくり等に官民連携によって多面的に取り組み、夜間を含めたまちの魅力を向上させ、我が国の新たな文化的魅力を世界に向けて発信していくことを期待します。

●ナイトタイムエコノミーの経済効果
ナイトタイムエコノミーの取組は、宿泊、飲食、体験消費、交通など幅広い波及効果をもたらします。夜間に営業する事業者にとっては、「夜間」という 新たな時間市場を開拓することで事業を拡大する機会となります。日本においても大都市のみならず、全国各地域やまちにおいても、ナイトタ イムエコノミーを推進し、訪日外国人が夜間に楽しめるコンテンツを拡充させることで飲食・宿泊を伴った経済効果が期待できます。 実際にナイトタイムエコノミーの推進に取り組んでいる海外の都市を見ると、ナイトタイムエコノミーの経済規模はロンドンで約 3.7 兆円、ニューヨークで約 2.1 兆円の市場となります。雇用創出にもナイトタイムエコノミーが大きく寄与しています。

都市	円換算	経済規模*	雇用者数	調査公表時期
ロンドン	1 ポンド=140 円	263 億ポンド （約 3.7 兆円）	723,000 人	2017 年 4 月
ニューヨーク	1 ドル=110 円	191 億ドル （約 2.1 兆円）	196,000 人	2019 年 1 月

＊ 都市によりナイトタイムエコノミーを対象とする業種や算出方法は異なる ＊ 経済規模：ロンドンでは GVA（粗付加価値）、ニューヨークでは消費者の消費額の合計として算出 出所：「THE ECONOMIC VALUE OF LONDON'S 24 HOUR ECONOMY」（London First）,「NYC's Nightlife Economy」（The Mayor's Office of Media and Entertainment）